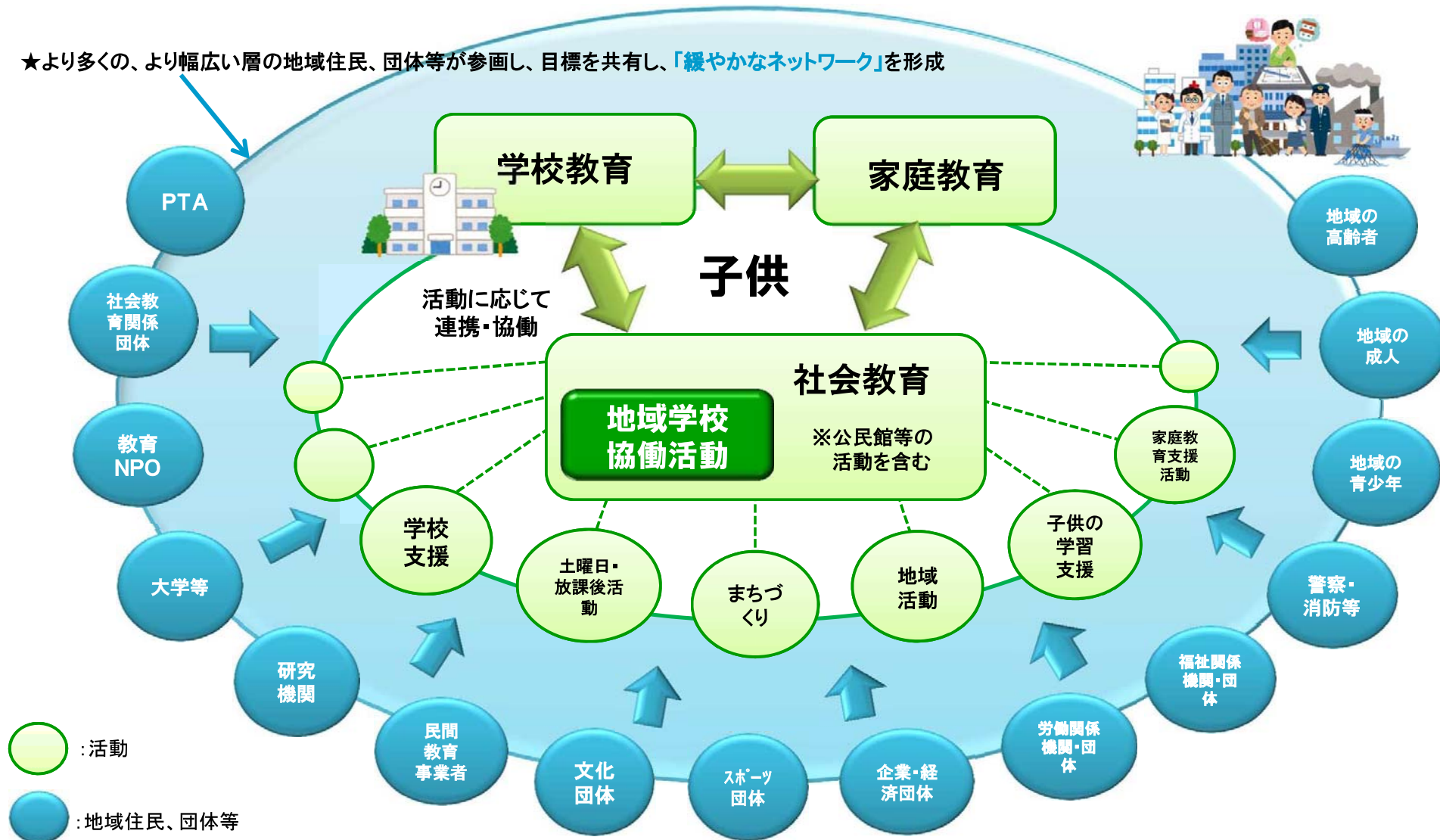


地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）

- ◎ 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。
- ◎ 従来の地縁団体だけではない、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。

★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成



文化・スポーツの振興

● うつのみや百人一首事業

● 鎌倉時代に宇都宮頼綱(蓮生)が藤原定家に色紙和歌をお願いしまとめたものが、「小倉百人一首」です。本市では「小倉百人一首」を通じて、心豊かな人づくりを進めています。

主な取組

- 蓮生記念全国かるた競技 宇都宮大会
- うつのみや百人一首市民大会
- 百人一首に関する親学出前講座 など



〈蓮生記念全国かるた競技宇都宮大会〉



〈百人一首に関する親学出前講座〉

● 宇都宮伝統文化継承事業

● 本市の歴史や風土によって生まれ、地域の人々に守り伝えられてきた伝統文化を継承し、市民の歴史認識を高め、郷土への愛着や誇りを醸成するため、各種事業を実施しています。

主な取組

- 伝統文化フェスティバル
- 宮っ子伝統文化体験教室
- ふるさと料理教室
- 宇都宮の伝統文化講座
- うつのみや民話の集い など



〈伝統文化フェスティバル〉



〈宮っ子伝統文化体験教室〉

● 地域スポーツクラブの育成

● 体力や年齢、目的などに応じて、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができる“ひとり1スポーツ”の実現に向け、地域住民が運営する地域スポーツクラブの設立・運営を支援しています。

クラブ紹介

(平成27年5月現在)

クラブ名	地区	クラブ名	地区
友遊いずみクラブ	泉が丘	スポーツかわち「ship」	河内
横川スポーツクラブ	横川	いきいきエンジョイ清原	清原
城山地区地域スポーツクラブ	城山	豊郷元気!スポーツクラブ	豊郷
サンクススポーツクラブ陽東	石井・峰・陽東	ちゅんちゅんさわやかスポーツクラブ・雀宮	雀宮

主な活動種目

子ども体操講座・カラーリング・グラウンドゴルフ・ソフトバレーボール・卓球・3B体操・弓道・ヨガ・ファミリーバドミントン・健康マーじゃん など ※活動種目はクラブにより異なります

活動の様子



〈カラーリング〉
氷上のスポーツ「カーリング」からヒントを得て誕生したスポーツです。体育館などの身近な屋内施設の床面を利用し、手軽に楽しむことができます。



〈3B体操〉
「遊びの要素」「気軽に」「体に無理なく」をキーワードに、すべての世代の人が誰でも楽しめるよう考案された体操です。ボールなどを使用するのが特徴です。

宇都宮

教育のしおり

宇都宮市教育委員会は、子どもから大人まで人間力の向上を図るため、心豊かでたくましく生きる人づくりを目指して、学校教育の充実はもとより、家庭や地域の教育力の向上などについて総合的・体系的に推進しています。

これからも、教育現場の実態を踏まえながら、市民と共に、学校と共に、また地域と共に、10年先、20年先を見据えた教育行政を展開していきます。



社会総ぐるみによる人づくりの合言葉

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」

～大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます～



宇都宮市教育委員会

編集
発行

宇都宮市教育委員会事務局教育企画課 平成27年6月発行
〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号 TEL:028-632-2704 FAX:028-639-7159



学校教育の充実

「小中一貫教育・地域学校園」の推進

●「小中一貫教育・地域学校園」の推進を図り、すべての児童生徒の学力保障と学校生活適応を目指しています。
※地域学校園・・・小中一貫教育を進める上での小中学校の組合せであり、地域人材などを教育活動に生かすとともに、地域ぐるみで子どもを育む取組を進めるためのもの

主な取組

4・3・2制の小中一貫教育カリキュラム



義務教育9年間を通して小中学校のつながりを生かした系統的な指導を行っています。

小中学校教員の相互乗り入れ授業



小学校6年生が中学校教員の授業を、中学校1年生が出身小学校教員の参画する授業を受けています。

小学校6年生の進学先中学校訪問



中学校教員や生徒による学校生活の説明や、部活動の見学などにより、進学への期待を高め不安解消を図っています。

- ALT(外国語指導助手)を活用した会話科「英会話の時間」の授業を、小学校1年生から6年生で実施し、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指しています。
- 小中一貫教育を推進するための学力向上非常勤講師やALT、特別支援教育に係る指導員など、計458名(平成27年5月現在)を市独自で配置し、一人一人の学力の向上をはじめとする学校教育活動の充実を図っています。

読書活動の充実

●豊かな読書活動と学校図書館運営の円滑化を推進し、児童生徒が読む本の質的・量的な充実を図っています。

主な取組

- 学校図書館司書を平成18年度から市独自で全小中学校に配置し、読書活動の推進や学習指導への支援を行っています。
- 読み聞かせなど本に親しむ活動や、図書館資料を活用した調べ学習などを積極的に実施しています。

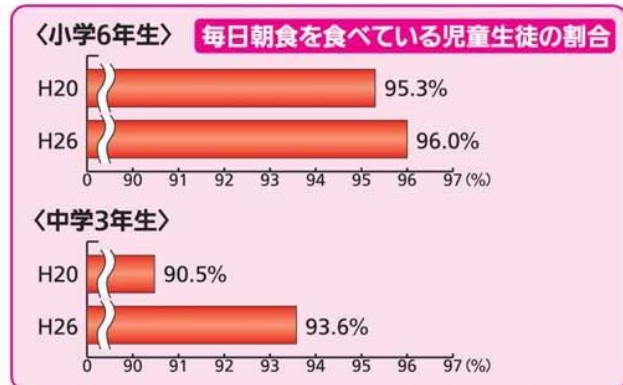


食育の充実

●児童生徒が、生涯にわたり、自ら心身共に健康な生活を送れることを目指しています。

主な取組

- 学校栄養士を全小中学校に配置するため、本市独自で追加配置を進め、平成20年度から全校配置となり、食への関心を高める指導の充実を図っています。
- 自校炊飯による宇都宮産米の米飯給食の提供や、小中学校9年間を通して実施する「お弁当の日」など、本市独自の取組を行っています。



自然体験活動の推進

●自然の中での体験活動を通して、自ら問題を解決する能力や豊かな心が育まれることを目指しています。

主な取組

- 全ての小学校5年生と中学校1年生を対象に、宇都宮市冒険活動センターにおいて、2泊3日の「冒険活動教室」を実施しています。



〈イニシアティブゲーム〉
みんなで高い壁を乗り越えるなど、一人では解決できない課題をグループ全員で力を出し合い解決します。

地域ぐるみの子育て

「魅力ある学校づくり地域協議会」の設置

●学校やPTA、自治会などの地域の団体で構成し、各小中学校区に設置する「魅力ある学校づくり地域協議会」の活動を通して、地域の教育力を生かした「学校教育の充実」と、地域ぐるみの子育てによる「家庭・地域の教育力の向上」を図っています。

主な取組

活力ある学校づくりに参画	地域の教育力を生かした学校教育の充実	児童生徒の健全育成・安全確保に参画	家庭や地域の教育力の向上
<ul style="list-style-type: none"> ●学校運営や教育方針に関する意見交換 ●学校評価への参画 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習支援に協力する地域人材のコーディネート ●学校教育活動への協力 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ぐるみのあいさつ運動の実施 ●登下校時の見守り活動 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●親学講座や親子料理教室の実施 ●休日の学校図書館の開放 ●児童生徒と地域の交流事業 など

「宮っ子ステーション事業」の実施

●「子どもの家・留守家庭児童会」と「放課後子ども教室」を、地域の育成者と保護者などで構成する「運営委員会」に委託して実施し、放課後等における児童の健やかな育成を図っています。

主な取組

子どもの家・留守家庭児童会	放課後子ども教室
<p>保護者が就労等により昼間不在となる留守家庭の児童を対象に、放課後、専任指導員が、家庭的な雰囲気の中で、家庭生活や社会生活において必要な基本的習慣などの育成を図っています。</p>	<p>放課後の活動を希望するすべての児童を対象に、体験活動や交流活動、学習支援等を行うことで、参加児童が様々な活動を通して学びながら、コミュニケーション能力などの「生きる力」を育てています。</p>

家庭教育支援事業

●保護者や子育てサークルなどを対象として開催する親学出前講座や、親学と子どもの情報誌の発行などを通して、家庭の教育力向上を目指しています。

親学出前講座プログラムの例

プログラム名	内容
子どものいいところを伸ばそう	子どもの特性を理解し、子どもの成長や良いところの見方、子どもとの接し方について参加者同士の意見交換を通して考えるワークショップ
話し合ってみようみんなの子育て	宇都宮市PTA連合会が作成・実施した「親の振り返りカード」の調査結果を基にして行うワークショップ(市PTA連合会連携講座)
保健師から見た家族の健康	子どもの健康増進のための、生活習慣についての講話(企業等連携講座)

親学と子どもの情報誌



〈こどもるっくる〉

家庭の教育手帳



地域の特性を活かした産業の振興

資料 2 - 2

商工業の振興

- 成長産業の育成による競争力の強化
- 産学官金連携による産業振興の推進
- 企業立地・定着の促進
- 中小企業の経営基盤強化に向けた取組みの推進
- 雇用の促進（UJIターン、若者・女性の雇用促進）
- 起業家の創出・育成に向けた支援
- 大谷の地域資源を活かした産業振興

農業の振興

- 地域農業を支える担い手の確保・育成
- 収益性の高い農業の実現
 - ・大谷採石場跡地の冷熱エネルギー活用
 - ・新産地育成（市場ニーズを捉えた新たな農作物の生産振興）
 - ・ICTの活用
- 輸出等を見据えた本市農産物のブランド力の強化
- 人と環境にやさしい農業・農村の実現
- 活力あふれる農村づくり

観光の振興

- 戦略的観光事業の推進
 - ・おもてなしある受入体制の充実
 - ・観光資源の活用促進、着地型観光の促進、広域観光の促進 など
 - ・ディスティネーション キャンペーン の活用
- サイクルシティうつのみや誘客促進事業の推進
- 都市の魅力創造（スポーツを活用した地域活性化）
 - ・交流人口の増加に向けた国際スポーツイベントの誘致など
- 大谷観光の推進

「石の里大谷エリアの地域資源を活用した
地域創生事業」について

◎ 大谷地域における地域創生の取り組みの推進に向け、国の地方創生推進（新型）交付金の活用を図るもの

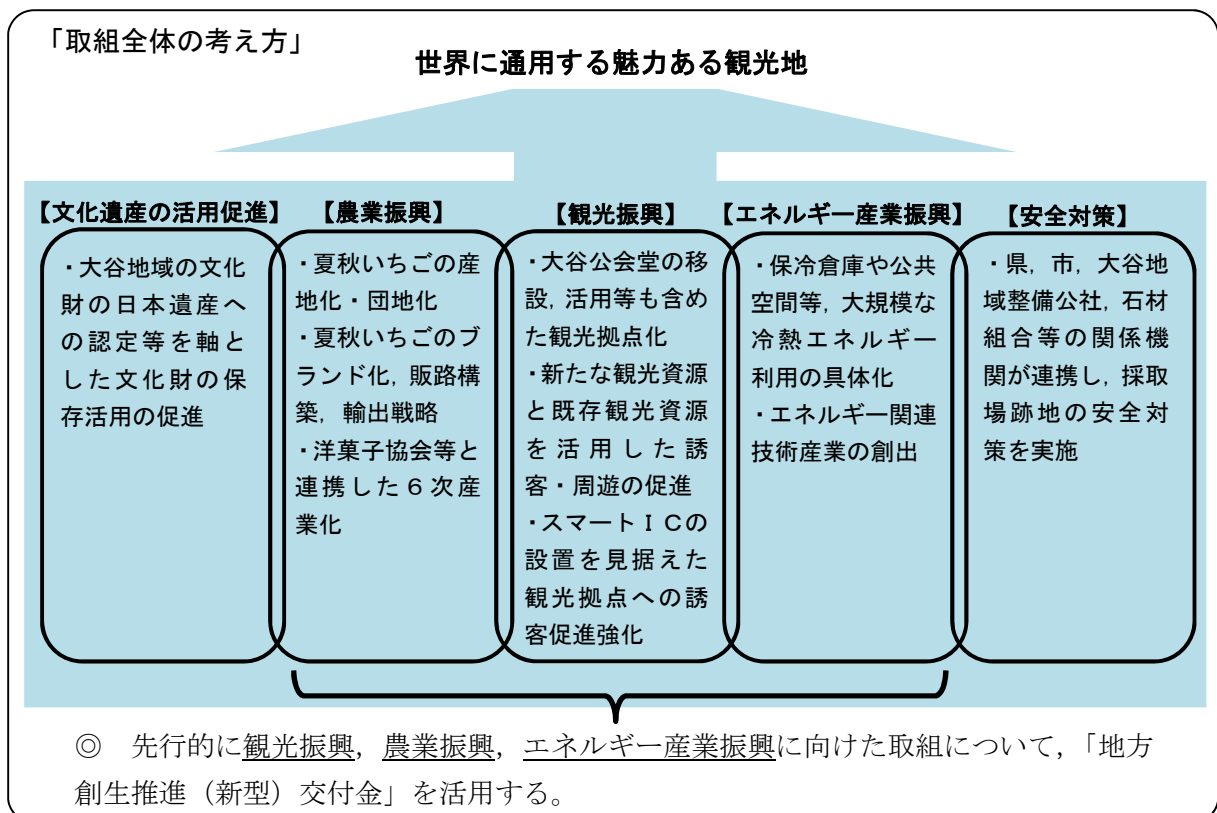
1 取組全体の考え方（下記イメージ図参照）

- ・ 大谷地域の振興に向けては、(仮称)大谷スマートICの設置を見据えた「観光拠点化の促進」、日本遺産への認定等を軸とした「文化遺産の保存活用の促進」、固有の地域資源を活用した「地域産業の振興」など、今後展開していく各事業の一体的な推進により、NCC構想の観光拠点と位置付ける大谷エリアを「世界に通用する魅力ある観光地」として積極的な取組を進めていく。
- ・ また、大谷地域全体の振興を図るためには、「大谷石採取場跡地」の安全対策が重要であるため、引き続き県や大谷地域整備公社、関係団体と連携・協議し、今後の安全対策の充実を図りながら、地域全体の振興に向けて総合的に取組を進めていく。

2 地方創生推進（新型）交付金の活用

- ・ 観光振興や農業振興、地場産業の振興など、多面的な発展の可能性を有する大谷エリアについて、「地域資源個々の魅力」を「地域の魅力」として展開し、大谷地域全体の活性化を図るため、先行的に取組を実施するものである。
- ・ 事業の推進にあたっては、各々の地域資源の効果的な活用・連携方策等を整理し、エリア全体で継続的な活性化が生み出される仕組みについて検討を進める。

事業名称：「石の里大谷エリアの地域資源を活用した地域創生事業」



大谷 エリア将来イメージマップ

OHYA Regenerative and renewable energy project
大谷 再創成エネルギー活用プロジェクト

宇都宮大学 建築環境研究室 久我亮介 太田亮平

